

本学志願 1万7551人

センター利用入試 5年連続で増加



センター試験の第1日(本学津田沼6号館第1試験会場で)

平成27年度 入学試験学科別志願者数

センター利用入試(前期)	工学部						情報科学部		社会システム科学部			合計
	機械サイエンス学科	電気電子情報工学科	生命環境科学科	建築都市環境学科	デザイン科学科	未来ロボティクス学科	情報工学科	情報ネットワーク学科	経営情報科学科	プロジェクトマネジメント学科	金融・経営リスク科学科	
志願者数	2,389	2,334	1,524	1,962	1,519	1,847	2,029	1,661	884	743	659	17,551
昨年度志願者数	2,189	2,166	1,371	1,570	1,161	1,654	1,843	1,405	750	603	530	15,242

A日程入試	工学部						情報科学部		社会システム科学部			合計
	機械サイエンス学科	電気電子情報工学科	生命環境科学科	建築都市環境学科	デザイン科学科	未来ロボティクス学科	情報工学科	情報ネットワーク学科	経営情報科学科	プロジェクトマネジメント学科	金融・経営リスク科学科	
志願者数	2,274	2,202	1,386	1,701	1,389	1,764	1,858	1,565	847	733	683	16,402
昨年度志願者数	1,830	1,876	1,157	1,246	998	1,450	1,578	1,328	677	615	531	13,286



タイ工業大のバンディット・ローランソン学長(右)と協定書を交わす小宮一仁学長

タイ、ベトナムの2大学と交流協定

小宮一仁学長は1月19日にタイのタイ工業大、同21日にベトナムの FPT 大学を訪問し、両大学と大学間交流協定を締結した。

タイ工業大は、日本と

の友好とタイ産業界の人材育成を目的に設立されたタイ経済技術振興協会を母体として、2007年に設立。現地日系企業のニーズに応えるため日本語が得意な人材を育てている。08年には同大経営学部と本学の社会システム科学部が学部間協定を締結していた。

FPT 大は、ベトナム最大手の IT 企業・FPT コーポレーションが日本向けの即戦力技術者を育てる目的で07年に設立。日本でシステム開発経験がある技術者を日系企業から講師に招き、システム開発の手法を教えている。講義は日本語で進めるなど日本語漬けの環境も整えている。

本学の海外交流協定大学はこれで10カ国・地域19大学となり、今後も本学の国際化の進展が期待される。

初日17日は、心配されたりスニング機器の不具合などもなく順調に終了。しかし18日は、京成線の人身事故の影響で約50人の受験生が別室で受験。1時間繰り下げての試験開始となった。

今年のセンター試験の志願者数は全国で約56万人。本学センター利用入試(前期)

高い成果で知名度アップ

期)の志願者は1万7551人で、昨年を2309人上回り、センター利用入試では5年連続で過去最大の志願者数を更新した。

続いて1月31日(金)から4日間、A日程入学試験が本学試験場と14の学外試験場(1月31日、2月1日)で実施された。今年から、東京スカイツリータウンキャンパスを東京会場として開

設、受験生70人を各試験場に受け入れた。4日間とも好天に恵まれ、大きなトラブルもなく試験は終了した。今年度、A日程の志願者数は1万6402人で、昨年

NASAとの共同による世界初の試みはアンタレスロケットの打ち上げ失敗で残念な結果となったが、今年6月の再打ち上げに向けて本学の準備も万全で、期待が寄せら

る。3116人上回り、6年連続で増加した。志願者増加の要因として大きいのは、テレビなどマスコミに本学の取り組みが数多く取り上げられたこと。中でも惑星探査研究センター(PERC)が取り組んでいる国際宇宙ステーションからの流星観測プロジェクトは大きく取り上げられた。

PERCが発表した「白亜紀末の生物大量絶滅の原因解明」や「はやぶさ2搭載機器開発」、未来ロボット技術研究センター(FuRo)が開発した原発災害対応ロボット「櫻子」などが大きな注目を浴びた。

学生の活躍では、ロボカップ世界大会2014で完全優勝。これらの高い成果が受験生や保護者に届き、本学のブランドイメージ向上と志願者増につながったとみられている。

A日程も1万6402人

1月17、18日の土、日曜日、大学入試センター試験を皮切りによいよ入試シーズンに突入した。本学でも、センター試験を利用して入学志願者の合否を決める大学入試センター利用試験を実施。今年度は受験生1860人を受け入れた。

NEWS CIT

2015
2.15

ニュースシーアイティ

千葉工業大学・入試広報部
〒275-0016 千葉県習志野市津田沼2丁目17番1号
TEL 047(478)0222 FAX 047(478)3344
<http://www.it-chiba.ac.jp/>
毎月1回(8月を除く)15日発行

ニュースガイド

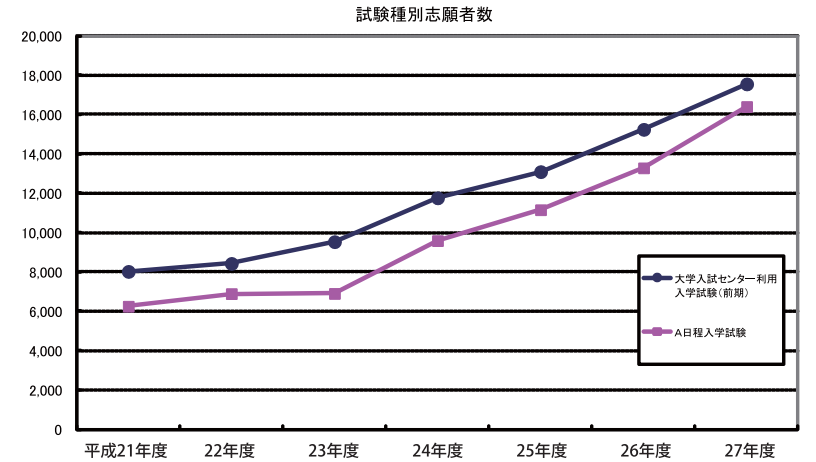
2面 本木さん雑貨大賞優秀賞/太田川君「優秀発表」/井上君優勝、花城君造形賞/未来人「小倉一見さん」

3面 SI-Lab. 最終発表会/潤間君、電験3種に合格/第35回祝勝・奨励会

4面 マンガ研がクリスマス装飾ボランティア/哈爾濱大中国語研修体験記・遠矢君/フォトクラブ・写真部が合同展/新任紹介

一般入試における志願者数推移

	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度
	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
大学入試センター利用入学試験(前期)	8,023	8,427	9,535	11,763	13,095	15,242	17,551
A日程入学試験	6,251	6,891	6,903	9,587	11,155	13,286	16,402
一般入試実合格者数							



平成27年4月よりキャンパス内全面禁煙

津田沼校地 新習志野校地 霞浜校地

喫煙者の害、タバコの害について理解を深め、学校でも歩きたばこや強い煙の匂いなどで周囲のマナー違反はNGです。ご協力よろしくお願いいたします。

千葉工業大学

「鳥のうんち」 自転車盗も敬遠 本木さん 雑貨大賞優秀賞



サドルに本物そっくりの「ふん」が…
(雑貨大賞受賞者紹介ページから)



本木さん



市販想定シール

「遊べる本屋」を展開す
で周りをハッピーに—
ちょっとしたアイデア

るヴィレッジヴァンガード(本社・名古屋)が企画した第1回雑貨大賞(昨年11月1〜3日、渋谷パルコ特設会場)で最終選考・作品展示)で、本木礼夫さん(デザイン科学専攻修士1年・佐藤弘喜研究室)が奇抜な自転車盗難防止シールを提案し、大賞に次ぐ優秀賞2作の一つに選ばれた。作品は「鳥のうんち」。鳥の糞そっくりのステッカーで、自転車を駐輪する際、サドルに貼り、また剥がせる素材でできている。サドルに鳥の糞が付いていたら、きっと誰もが嫌な気持ちに。こんな自転車をおすすめして盗もうと考える者はいないだろう……。

作品は昨年8月から募集し一次審査を経て、最終選考で片桐仁さん(コメディアン・俳優・彫刻家)光浦靖子さん(タレント)ら8人の審査員が集り一次審査を経て、最終選考で片桐仁さん(コメディアン・俳優・彫刻家)光浦靖子さん(タレント)ら8人の審査員が投票。渋谷パルコに展示し一般投票も行われた。そのリアルな加工から「鳥のうんち」すく欲し

井上君優勝、花城君造形賞

低温度差エンジン 競技会

湯と水の温度差だけで自作エンジンを動かす「第4回低温度差スターリングエンジン競技会」(昨年11月2日、大分市の大分大・旦野原キャンパスで開催)日本機械学会主催、大分合同新聞、NHK大分局など後援)で、井上佳英君(機械サイエンス学科4年・高橋芳弘研究室)が優勝し、花城邦嘉君(同)が造形賞を受賞した。

石原沙織助教の研究室で、伝統的建築材料の再評価などを手掛ける太田川貴宏君(建築都市環境学科4年)写真)が、2014年度日本建築学会大会(近畿) 学術講演会(昨年9月、神戸大で開催)の材料部門で「畳床の種類が吸放湿性能に及ぼす影響を発表」し若手優秀発表」に選ばれた。11月20日付で公表された。

太田川君が「優秀発表」

建築学会で畳床の吸放湿性能を

はない優れた性能をいくつも持つ。太田川君はそのうちの吸放湿性能に着目。畳床に使われる稲わら、畳ボード、断熱材などが吸放湿性能に及ぼす影響について発表した。発表資料をいかに見や



発表は、フーリングに



井上君が自作エンジンで実演

すく、分かりやすく説明するか—考えを重ねて発表に挑戦、受賞を果たした。

太田川君は「受賞できると思っておらず、とても驚きました。自分のペースで発表できたことが自信にもつながり、いい経験になりました」と感想を寄せた。

講演会は若手の研究活動を奨励し、プレゼンテーション力の向上を促すため開いている。今回、材料施工部門の講演発表は703題あり、38題が若手優秀発表に選定された。

発見！ 未来人

大木伸銅工業株式会社

小倉 一晃さん

2008年、機械サイエンス学科卒

在学中は「マグネシウム合金の薄板圧延と接着技術」をテーマに研究しました。教授をはじめ院生の先輩や研究室の仲間とともに一つのテーマに向かって取り組んだことは、今でもよい思い出となっています。

現在は技術部品質保証課に所属し、製品の試験検査、製造工程の改善立案、顧客対応などを担当しています。また、ISO14001事務局として審査機関との打ち合わせ、社内各部門との協議など、多岐にわたる業務を行っています。

当社は銅および銅合金の棒、線を中心に、りん青銅、鍛造品などを製造しています。溶解・鋳造から押出、抽伸、圧延工程を経て、最終製品である棒・



技術部品質保証課で業務に励む小倉さん

線、板・条を一貫生産しており、学生時代に学んだ金属学、塑性加工学などの基礎が役立っています。

昨年11月に創業90周年を迎えた歴史ある当社には、昭和30年代から本学卒業の諸先輩方が多く在籍され、現在も取締役工場長をはじめ技術部長、各製造課長など要職に就かれています。私は入社7年目ですが、機械サイエンス学科の後輩も入社してきました。

当社にとって次の大きな節目である創業100周年に向けて、さらなる品質力のアップに日々精進していきます。

は湯と水の、1000度以内という低い温度差でシリンダー内の空気を膨張・収縮させ、エンジン(糸巻き機)を動かす。湯の熱に頼るため調整が難しく、実演で動作しないことも。

競技には大学生、社会人6組が参加。テーブルに約90度の湯と水道水が用意された。出品者たちはスターリングエンジンを持ち寄り、工夫点や製作の感想などを述べた。その後、エンジンで系につないだ重りを30秒引っ張り、重りの重さと速さを競争。257gの重りを32秒で引いた井上君が優勝した。



花城君は造形賞を獲得

「栄えがよい」と造形賞を贈られた。

井上君と花城君は、部品の本学の工作センターに直結する機械なので、苦労も多かったですが、いろいろなることを学び成長できました」と感想を語った。

事業内容	銅および銅合金の棒、線、鍛造品、りん青銅の板、条の製造、販売		
所在地	本社 〒175-0083	東京板橋区徳丸3-17-16	
	新座工場 〒352-0011	埼玉県新座市野火止8-19-1	

学科の垣根を超えて成長

3学科融合の 介護支援ロボット Sii-Lab. 最終発表会開く

未来ロボティクス、デザイン科、プロジェクトマネジメント3学科の学生の混成3チームが昨年4月から進めてきた高齢者介護を支援するためのロボット作りの最終報告会が1月15日、津田沼キャンパス2号館で開催され、各チームが10カ月間の成果を披露した。冒頭のあいさつで小宮一仁学長は「皆さんの取り組みは、私が進めているグローバル化教育の一助になっている」と確信している」と、学科間の垣根を取り払うこの挑戦への期待を表明した。

「Sii-Lab. (Social Implementation of Robotics) ロボティクス技術の社会実装」と名づけられたこの演習には3学科から6人ずつ、計18人の学生が参加。未ロボの太田祐介教授を筆頭責任者とし、デザイン科の佐藤弘喜教授、安藤昌也准教授、PMの久保裕史、五百井俊宏の両教授と矢吹太朗准教授、furoの平井成興副所長と富山健研究員、未ロボの卒業生でベンチャー企業経営者の宇井吉美さんが指導陣に加わった。

3学科からそれぞれ2人ずつの計6人で構成された3チームのメンバーは、4月の顔合わせに始まり、6月末の御宿研修センターでの合宿、10月の中間発表を経て、11月には学生ビジネスコンテストのキャンパスベンチャーグランプリ (cvg) 東京大会セミファイナルでプレゼンテーションに臨む、対外試合、も経験。年明けの最終発表会に漕ぎつけた。

ちなみにcvgでは2チームが最終審査に進み、奨励賞を獲得した。本紙1月号で既報。

Sii-Lab.の目的は3学科の教員と学生が融合、それぞれの専門を生かし、協働して介護支援ロボットを製作する過程で、学生に実社会での問題解決力を身につけさせること。

実際の演習では、顔も知らなかった学生たちがチームを構成。連れだって介護施設を何度も訪問し、現場の声を聞いて、どんな介護支援ロボットを作るかを議論した。それを基に製品をデザインし、モック(模型)を製作。実際にロボットを作り、ビジネス化するためのプランづくりなどを行った。

太田教授ら指導陣は、参加学生を大きく成長させたこの成果を基にSii-Lab.をさらにブラッシュアップして来年度につなぐ考えだ。新カリキュラムの構築にも生かしていきたいとしている。

最終発表会に参加して3チームが製作した介護支援ロボット「別項参照」を見た高齢者介護の専門家からは、「介護現場で買つか?と聞かれたら、3件の発表とも完成には遠いが、興味深いアイデアもあった。もっと現場を知って、介護施設が抱えているさまざまな問題のテクノロジーでの解決にチャレンジしてほしい」といった講評が聞かれた。



聴衆の質問も飛び交った発表会場

3学科からそれぞれ2人ずつの計6人で構成された3チームのメンバーは、4月の顔合わせに始まり、6月末の御宿研修センターでの合宿、10月の中間発表を経て、11月には学生ビジネスコンテストのキャンパスベンチャーグランプリ (cvg) 東京大会セミファイナルでプレゼンテーションに臨む、対外試合、も経験。年明けの最終発表会に漕ぎつけた。

潤間君 電験3種に合格

佐藤研「電験道場」から初



電気電子情報工学科・佐藤宣夫准教授の研究室の潤間威史君(4年)が電験3種(通称・電験3種)に合格し、このほど経済産業大臣発行の免状が届いた。

佐藤研究室では2012年夏からゼミの活動の一環として、「電験3種合格」を目指した学生の自主的な勉強会を開催している。「電験道場」と名付けられたこの勉強会には1、2年生や大学院生も参加可能で、毎週月曜日に開かれる。潤間君は2年生だった2012年秋から参加し、2年間をかけて佐藤研究室初の栄冠を手にした。

電験3種の試験は理論、電力、機械、法規の4科目で行われ、科目別合格制を採っている。有効期限は3年間。平成24年度の合格率は5.9%という難関だ。試験は毎年9月に行われ、潤間君は3年生で理論、機械、法規に合格。4年生で残る電力に合格した。

佐藤准教授の目標は、電験道場の活動を通して「日本で一番、電験3種

3チームが製作した介護支援ロボット

【チームPDR】介護施設と小学校で団遊を作るロボットキット「コミュニケーション」(cvg奨励賞)

【チームHEY!SN】被介護者に最適な介護を生み出すヒアリングロボット「キキトリ」

【チームOKR48】介護施設で暮らす高齢者の「ハレの日」である入浴を支えるため、バイタルチェック機能を備えた「河童のKP」(cvg奨励賞)

17クラブを表彰

第35回祝勝・奨励会

表彰されたクラブは以下のとおり。
平成27年2月4日(水)16時～ 於：津田沼校舎3号館 学生食堂

所属	クラブ名	主将・部長等	部員数	祝勝奨励事由	日付	
体	空手道部	PM4 森 智規	11名	千葉県空手道選手権大会 東都六工大空手道選手権大会	男子団体形 優勝 4/26 男子団体組手 優勝 6/22 男子個人組手 (PM2 山本 峻也) 優勝 女子個人組手 (建都1 小林 京佳) 優勝	
	剣道部	NS3 石川 雅浩	29名	習志野市民剣道大会	女子個人戦 (デザ1 金丸 蓮) 優勝 10/5	
	硬式野球部	金融3 石橋 好古	47名	千葉県大学野球春季リーグ戦	二部優勝 5/19	
	自動車部	機サ3 大多和佳樹	39名	全日本学生ダートトライアル選手権大会 全日本学生ジムカーナ選手権大会	団体戦出場 8/3 団体戦出場 8/24	
	射撃部	建都3 永井 花奈	23名	千葉県インドア大会	エアライフル10mS40 (建都3 永井 花奈) 優勝 7/13 ビームライフル19mS40 (経情1 野本 了平) 優勝	
	柔道部	機サ3 時田 遼平	14名	全日本理工科学生柔道優勝大会	男子無段者の部 (金融1 石河内 捷人) 優勝 6/29	
	育	卓球部	電情3 矢澤 宏樹	23名	習志野四大学対抗卓球大会 秋季関東大学卓球リーグ戦	男子団体戦 優勝 6/15 男子ダブルス 優勝 10/18 5部優勝 4部昇格
		二輪部	建都3 尾澤 佳樹	32名	キャンパスオフロードミーティングR-3 SS Killers	キャンパスBクラス (建都3 尾澤 佳樹) 優勝 8/3 ノービスC (情報2 多田 幸一) 優勝 9/6
		バドミントン部	経情3 柳沢 稜	64名	関東大学バドミントン春季リーグ (男子) 千葉県学生バドミントン春季リーグ (男子) 関東大学バドミントン秋季リーグ (女子)	五部優勝 4/26 Cクラス優勝 7/13 Cクラス優勝 Bクラス昇格 9/28 五部優勝 五部昇格
		ラグビー部	機サ4 山本 謙介	19名	関東大学リーグ戦 セアonz大会	Cグループ優勝 4/20
会	陸上競技部	デザ3 江口 久寛	42名	千葉県スポーツ祭典陸上競技大会 関東理工系学生対抗陸上競技大会	一般男子800M (生環3 木村 翔太郎) 優勝 6/8 一般男子4×400Mリレー 優勝 9/15 三段跳 (経情2 鎌田 佑貴)	
	軟式庭球同好会	情報3 額田 直樹	13名	関東理工科系大学ソフトテニスリーグ戦	四部優勝 三部昇格 11/30	
	囲碁部	情報1 森 優樹	23名	関東学生囲碁団体戦	五部優勝 10/15	
文	総合工学研究会	ロボ2 下吉 拓明	15名	ROBOT JAPAN 7th ROBOT JAPAN 8th 理工展ロボット大会	RJフライ級 (ロボ2 野老山 剛典) 優勝 1/19 バンタム級 (機サ3 加藤 慎也) 優勝 7/27 (ロボ3 万歳 竜己) 優勝 11/1	
	吹奏楽部 (奨励として)	建都2 太田 秀平	61名	入学式及び学位記授与式をはじめ、文化会サークル博、文化の祭典、津田沼祭等多くの大学行事で積極的に演奏を行っているほか、近隣の催しである、いきいき津田沼夏まつり等にも積極的に参加している。また、東関東アンサンブルコンテストに千葉県代表として出場する等、文化会所属サークルの模範であると評価できる。		
	鉄道倶楽部 (奨励として)	電情2 山田 夏弥	29名	大型鉄道模型による出張運転は文化の祭典、津田沼祭では勿論のこと、地域の祭りや幼稚園のイベント等において多くの方が乗車し大変喜んで頂いていることから、地域への貢献が高く、評価に値する。		
書道倶楽部 (奨励として)	生環2 三ッ口 舞	17名	第29回全国学生書き初め展覧会にて優秀特選に入賞。			

献血ルームにクリスマス夜景

マンガ研6人が装飾ボランティア



JR津田沼駅北口前の津田沼パルコB館6階「津田沼献血ルーム」に昨年12月12日、文化会マンガ研究会(部長・堀込啓吾君、情報ネットワーク学科1年)の有志6人がボランティアでクリスマス装飾を施した。写真。献血ルームは広場のカフェのように誰もが気軽に利用をコンセプトに、オシャレで快適な雰囲気づくりに努めている。これを知った部員らが飾り付けを買って出た。

フォトクラブと写真部が合同展

文化会のフォトクラブと写真部は1月28日〜2月1日(前半)と2月4〜8日(後半)、津田沼駅北口近くの高山写真館コミュニティギャラリーで合同展を開いた。写真。テーマは「好きなもの」。趣味、楽しい時、幸せ、そんな自分たちの好きなことを写真に収めたという。同館はギャラリーを無料展示スペース



として一般に開放している。前、後半で作品を入れ替え多くの「好きなもの」を展示。市民や大学関係者などが訪れた。両クラブの合同展は初

哈爾濱工大で中国語を研修

単身参加の遠矢君が体験記

本学と交流協定を結ぶ中国・哈爾濱工業大での中国語研修(昨年8月31日〜9月13日)に遠矢圭介君(情報ネットワーク学科1年)が単身参加し、以下の体験記を寄せた。

日本人が日本語として当たり前のように使用している「漢字」に興味があり、中国語の(現代の)漢字はどんなだろう?中国語を学んでみよう!と思い、哈爾濱工大での



である私は、少し物足りなさを感しました。

留学中は寮に滞在。あまりきれいなとはいえない

哈爾濱工大生や欧米人留学生とともに(最後列左が遠矢君)

授業後、平日はクラスメートと食事に行ったり、町に繰り出し散策したり、いろいろなことを語り合いました。土日には日本語を学ぶ中国学生

ハルビン市を案内してもらい、さまざまな場所を観光することもできました。

初海外生活では、さまざまな場面でも不便もありましたが、その都度、なんとか対応する術を身に付けました。自分を成長させるよい経験になったと感じています。

クラブの活動状況

体育会	期間	大会・発表会名
アメリカンフットボール部	昨年10/5~12/14	2014年度秋季リーグ戦
サイクリング部	12/25~26	合宿
スキューバダイビング愛好会	12/27~28	合宿
卓球部	12/20	松戸市オープン(団体戦)卓球大会
	12/23	我孫子オープン卓球大会

上記クラブのほか、多くのクラブが課外活動に励んでいます。定期的にいろいろなクラブの活動状況をお知らせしています。学生たちのがんばりにご期待ください。

新任紹介

呂 曉偉

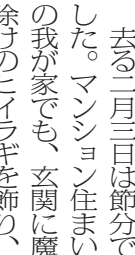


(学生センター) 事務職

四季雑感



今年のお正月、秒単位まで合わせる必要に迫られ久しぶりに時計を購入した。ソーラー電波腕時計だ。思い返して見ると、初めて買ってもらった腕時計から数えて、ちょうど10代目であることが判明した。進学・就職祝いとして贈られた時計。働いて自身で購入したから初めて贈られた時計だ。主人とお揃いのペア時計。これらをしてある引き出しの中から、時計達を手にとると、それぞれ、思い出のシーンが鮮明に蘇る。さて、時計のプレゼントには様々な意味があるぞうだ。①友達に贈ると「ずっと仲良く」②恋人に贈ると「離れている間も同じ時を過そう」③大人から子供へ贈ると「時間を守るいい子になるように」である。40年前父から初めて贈られた時計。また、「義理チョコ」という本来ならば茶番的なわざとらしいツールを利用して、職場の上司や同僚、後輩との、人間関係を円滑にするという意外に(？)素敵なイベントであるような気がする。義理チョコという、想いのこもっていないただの商品とも捉えられがちだが、実は、この義理チョコを選ぶ際にも細心の注意を払っている。チップでも洒落が効いてい



去る二月三日は節分でした。マンション住まいの我が家でも、玄関に魔除けのヒイラギを飾り、今年の恵方である西南西を向いて恵方巻きを食べました。本来ならば豆もまくべきでしたが、生後九か月の息子が食べると危険なので、まかずに年の数だけいただきました。

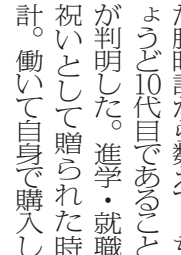


子供の頃には食べ足りなかった豆の数も、あれよあれよという間に増えて、今では途中で食べ飽きてしまうほどに。私よりも年配の方たちは、一体どうしていらっしやるのかしらと、毎年いらぬ心配をしていますが、それから二十数年が経ち、まさか自分までもが黙々と巻き寿司を頬張る日が来るなんて、夢にも思いませんでした。

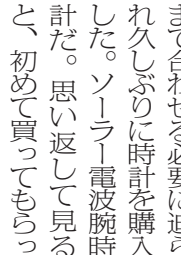
いよいよ明日はバレンタインデー! 今さら、好きな人に愛の告白……なんて、乙女心をくすぐるドキドキ・ワクワクのイベントからは程遠い今日この頃ではあるが、今年はどうなラインナップが揃っているだろうか?と、正直気にはなる。



また、「義理チョコ」という本来ならば茶番的なわざとらしいツールを利用して、職場の上司や同僚、後輩との、人間関係を円滑にするという意外に(？)素敵なイベントであるような気がする。義理チョコという、想いのこもっていないただの商品とも捉えられがちだが、実は、この義理チョコを選ぶ際にも細心の注意を払っている。チップでも洒落が効いてい



るものや、年輩だから和菓子が良いか……など、チョコレート会社の戦略に乗せられつつも渡す相手を思い浮かべるのだ。チョコレートを配ることにだけが感謝を伝える手段ではないけれど、終業時間や学内でのコミュニケーションを見直すきっかけになればと思う。念のため、お返しはお気になさらずに……(笑)。



入試広報課 大橋 慶子